

定型的な作業は民間に委託しては。

答 指定管理者制度の活用、草刈、除雪などの現業業務の市民協働や民間委託、事務事業の部分的な業務委託など、事務事業の効率化を推進する。

観光行政の今後の対策は

問 短期、長期的な観光施策の取り組みが必要であり民間とも協議策定すべき。

答 国内観光振興計画を平成20年度策定完了したい。「富良野国際観光促進協議会」と連携をはかり策定して行く。

覚幸 伸夫

〔民主クラブ〕

廃プラスチックの再資源化は

問 この廃プラは、木材等の加工品として需要が、多くなつて来ており、この地域に於いて再資源化を行う考えはないか。

答 本市は容器リサイクル法の施行に伴い、富良野沿線1市3町1村にて、日本容器包装リサイクル協会の工場で、

冬季スキー場対策は

問 近年オーストラリア他、外国人客が増加しているが、新雪、林間コースの滑走ニーズは高まり不満がブログなどで多くみられる。その対策は。

答 コース設定のバランスを考え、富良野スキー場と対応を協議している。

問 市民利用割引券の改善が必要と考えるが。

答 午前券、午後券から、より利用しやすい4時間券に切り替える。

林産物の加工技術の育成支援は

育成支援は

油に再資源化しており、今後環境保全に努めて行く。

問 道産資材活用モデル工事使用は、木材加工型が最も多く、産消協働の推進を繋げようとしている。地域の森林資源は恵まれ、有効活用して雇用の創出、地域経済の活性化を図るため、林産物の加工等の育成支援の考えはないか。

答 本道への北洋材の入荷が極端に減少したため、道産のカラマツ等、大幅に増加し、

道外からも道産材の利用が活発化し、地域経済の活性化に繋がるかと考えている事から、国や道に対して働きかけをし、積極的に取り組む企業に対しては、関係機関に協力を得ながら対応して行く。



木材のガードレール(道林産試験場)

国産材の流通体制を

問 国産材、道産材が見直され、森林のもつ公益的機能の確保には林産業が活発化する事で、その流通体制が急務とされる。

答 国産材、特に道産材の活用については地域材として、ポスター、パンフレット等、PR活動を行い、販路拡大やコスト低減は関係機関と取り組む考えである。

公共施設等の維持管理は

問 公共施設等の施設状態の把握および維持管理の分析、また、問題があれば、今後の対応をどう考えているのか。

答 公共施設等の維持管理については、それぞれの部署が把握し、補修、改修を行う等、これらの問題があれば適正な判断、処置で対応して行く。

大橋 秀行

〔民主クラブ〕

シカ柵対策は

問 東山、山部、富良野地区それぞれからシカ柵の要望が出ているが、可能なのか。



電気柵(シカ対策)

答 防衛施設周辺整備事業で防鹿フェンスを整備するためには受益地区になることが必要となり、そのためには、上富良野演習場があることによる阻害要因を立証しなければならぬ。現在、防衛省により、砂塵調査を2回にわたり行っており、9月中旬に3回目の調査を実施することになっている。今後の取り組みについては、調査結果を受けて検討したい。

野生動物の生態調査は

問 シカ、クマ、アライグマなど、多くの野生動物が増えていくが、生態調査し対策をたてる必要があるのではないか。

答 必要性は認識しているが調査に要する設備、人的配置や費用の面から、本市としては、実施をしていない。しかし、毎年、夜間にサーチライトで照らしながらエゾシカの数を確認するライトセンサス調査を実施しており、併せてキツネ、ウサギの数を調査している。

農業者の高齢化対策は

問 新農業基本計画に、高齢化対策は盛り込まれているか。